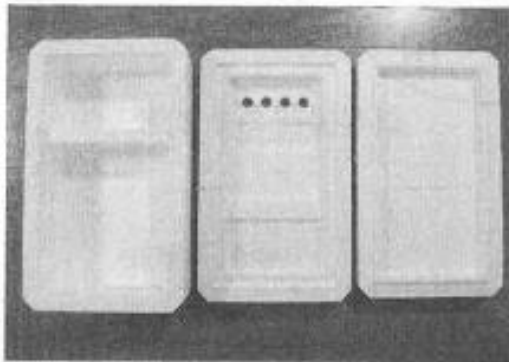


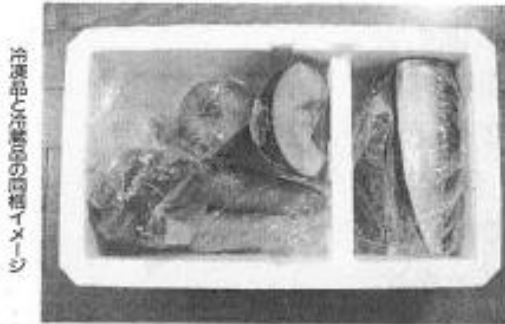
冷凍 冷蔵 同梱可能な箱開発

発泡スチロール エイテクノデザイン



冷凍冷蔵同梱輸送箱 (中央が保冷剤を置く中間層)

梱包、輸送の負担軽減



冷凍品と冷蔵品の同梱イメージ

発泡スチロールの設計開発などを手がけるエイテクノデザイン(本社春日井市御幸町2の4の31、加納隆司社長、電話0568・31・7511)は、冷凍品と冷蔵品を同梱できる発泡スチロール製の箱を開発した。軽量で持



ち運びしやすく、箱内部に密閉性に配慮した仕切りを設けることで、2日程度温度を保持することができる。梱包作業の負担軽減や運送費削減などのメリットをアピールし、食品業界や農家、医療業界などに提案する。(春日井・天野こず恵)

開発したのは「冷凍冷蔵同梱輸送箱」。ふた、保冷剤を置く中間層、商品を入れる最下層の3層構造で、中間層の片側に空けた穴から最下層に冷気を流すことで、冷凍品の保冷を行う。冷蔵品と冷蔵品を入れるスペースは仕切りで分けられており、仕切りの位置を変えて各スペースの割合を変えられることができる。

同社によると、縦42cm、

横42cm、高さ20cmの箱を使い、最下層(容量12・6リットル)の3分の1に冷凍品、3分の2に冷蔵品を入れて試験を行ったところ、冷蔵品は約45時間、冷蔵品は約50時間、それぞれ適温を保持できたという。

通常、冷凍品と冷蔵品を輸送する場合は、それぞれに輸送箱が必要となる。箱を一つにするだけで、梱包作業や伝票発行作業、輸送費用などのコスト削減につながる。

箱の大きさなどはオーダーメイドで対応する。食品の加工業者や野菜の直販を手がける農家、薬品の輸送などで活用を見込んでいきたい」と話している。



●尾張支社
一宮市栄
2-14-29
アスティー宮
北館102号
電話
0586(72)5003
FAX
0586(72)6823

●尾東支局
春日井市上条町
1-215
原ビル4階
電話
0568(41)9950
FAX
0568(41)9951

●半田支局
半田市泉町1-4
新美ビル4階
電話
0569(24)6320
FAX
0569(24)6367

る。コロナ禍でネットスーパーの需要が高まっていることから、冷凍冷蔵品がまとめて入れられる箱のニーズがあると判断し、開発した。3次元CADを使って設計し、さまざまな試験を繰り返して実用化した。現在、春日井商工会議所のオンライン展示会「かすがいeビジネスフォーラム」に出展している。

加納賢一常務は「近い将来、年間1万個程度の販売